

- 1 単元 あたたかい土地のくらし
- 2 指導計画（4時間完了）
 - (1) 沖縄の家やくらしのくふう・・・・・・・・・・1時間（本時）
 - (2) あたたかい気候に合ったさとうきびづくり・・・・・・・・1時間
 - (3) あたたかい気候を生かしたきくづくりと観光・・・・・・・・1時間
 - (4) 古くからの文化や自然を守る・・・・・・・・・・1時間

3 本時の指導

(1) 目標

- 沖縄の気候や生活の様子を写真や資料などから読み取り、分かったことや疑問に思ったことを基に知りたいことを発表することができるようにする。

I C T活用のねらい

- デジタルコンテンツを視聴してから伝統的な沖縄の家の様子や現在の家の様子をつかみ、理解を深めたり、新たな気づきを増やしたりする。

(2) 準備

教科書を拡大した画像 デジタルコンテンツ 電子黒板 ワークシート

(3) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
2分	1 本時の課題を知る	
課題：暖かい土地の気候や生活の様子を調べ、知りたいことを整理する		
13分	2 教科書の写真やグラフなどから、沖縄の気候の特色について読み取る。 (1) 2月の桜の写真や沖縄と東京の気温と降水量を比較したグラフを見て、沖縄が温暖な気候であることを確認する。 (2) 教科書の内容から、沖縄には毎年たくさんの台風が上陸することを確認する。	○ P.56にある北海道の2月の写真や、気温のグラフと比較することで、沖縄は温暖な気候であることをつかませる。 ○ たくさんの台風が毎年沖縄に上陸することで、沖縄県各地に大きな被害をもたらすことを押さえる。
15分	3 教科書の資料やデジタルコンテンツを見て、家やくらしの工夫を知る。 (1) 教科書の写真で、伝統的な家のつくりと現在の家のつくりを比較し、気付いたことを発表する。 (2) 「沖縄の家の工夫」の動画を見て、伝統的、現在それぞれの家の工夫について理解を深める。	○ 拡大した画像にペンで印を付けさせ、児童の気づきをクラスで共有させる。 ○ 現在の沖縄の家に貯水タンクが多い理由、鉄筋コンクリートづくりになっている理由を確認させる。 ○ 窓に格子が付けられている場面では動画を停止し、理由を考えさせる。 ○ 伝統的な家の工夫では、塀の解説で動画を停止し、材質とその理由を確認する。 ○ 強い風が吹いても低い屋根の上を伝って抜けていく構造であることを押さえ、どちらもたくさんの工夫があることに気付かせる。
10分	4 知りたいことや疑問に思ったことをワークシートに記述する。 (1) 疑問に思ったことをワークシートに記述する。 (2) 知りたいことをワークシートに記述する。	○ 学習から分かったことを整理させ、疑問に思ったことを考えさせるようにする。 ○ 疑問に思ったことから、今後の学習で知りたいと思うことを記述させる。
<p>評価事項 沖縄の気候や生活の様子について分かったことや疑問に思ったことを基に知りたいことを考え、表現できている。</p> <p style="text-align: center;">【発言・プリントの記述】（社会的な思考・判断）</p> <p>□…沖縄の生活の様子について、家のつくり以外に知りたいことを考えさせる。 ☆…沖縄の温暖な気候に関連する農業や産業について調べたいことを考えさせる。</p>		
5分	5 知りたいことを発表し、次時への見通しを立てる。	

※ゴシック体・・・I C Tを活用する学習活動及び指導上の留意点